

充電機能搭載車載用FMトランスミッター 取扱説明書

LAT-FM100U V02

ハードウェア仕様

製品名	LAT-FM100U		
変調方法	FMステレオ変調		
	パイロットトーン方式		
送信周波数 (※1)	77.0MHz/77.4MHz/77.8MHz 88.0MHz/88.4MHz/88.8MHz		
指向性	無指向性		
コネクタ形状	USB		
	外部入力コネクタ		
	USBシリーズA (メス※2)		
	ステレオミニプラグ (※3)		
環境条件 (※4)	動作時	温度	0°C~60°C
		相対湿度	5%~95%
	保管時	温度	-20°C~75°C
		相対湿度	5%~95%
入力電圧	DC+12V (※5)		
出力電圧/電流	5V 700mA (MAX)		
消費電力 (定格)	4W (12V) (MAX)		
外形寸法 (幅×奥行き×高さ)	40×20×145 mm (※6)		
質量	65g (※7)		

オンラインユーザー登録について

弊社Webサイトより、ユーザー登録頂くことをお勧めします。

L-site <http://www.logitech.co.jp/>

登録いただいたお客様を対象に、ご希望に応じて弊社発行のメールマガジン、弊社オンラインショップからの会員限定サービスをご案内させていただきます。また、登録いただいた製品に関連する重要な発表があった場合、ご連絡させていただくことがあります。

- ※1 切り替えスイッチによる切り替え
- ※2 充電供給のみ。ただし、USB充電機器全てを保証するものではありません。
- ※3 ケーブル直付け、カールコード、カールコードをのばさない状態で約26cm
- ※4 ただし結露なきこと
- ※5 シガーソケットより供給
- ※6 高さは操作部とシガーソケット部をあわせたと寸法の最大値、突起部を除く
- ※7 本体のみ

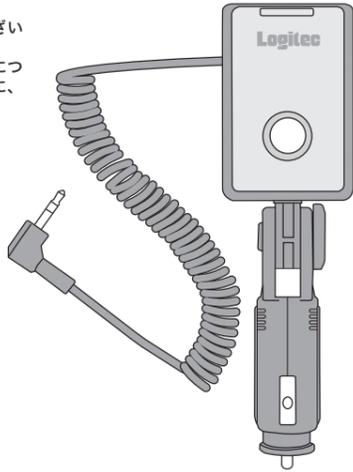
このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
本取扱説明書では、本製品に関する設定/使用方法、機能/仕様などについてのご説明をいたしますので、別紙の「取り扱い上のご注意」と共に、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

付属品の確認

FMトランスミッターユニット本体	1台
携帯電話用変換ケーブル	
平型4ピンイヤホンジャック	1本
取扱説明書	本書
保証書/取り扱い上のご注意	1枚

重要!

別紙の「取り扱い上のご注意」には本製品のご使用に際して、してはいけないことや、注意しなくてはならない点、お守りいただきたい事柄について記載しております。ご使用前に、必ずお読みください。

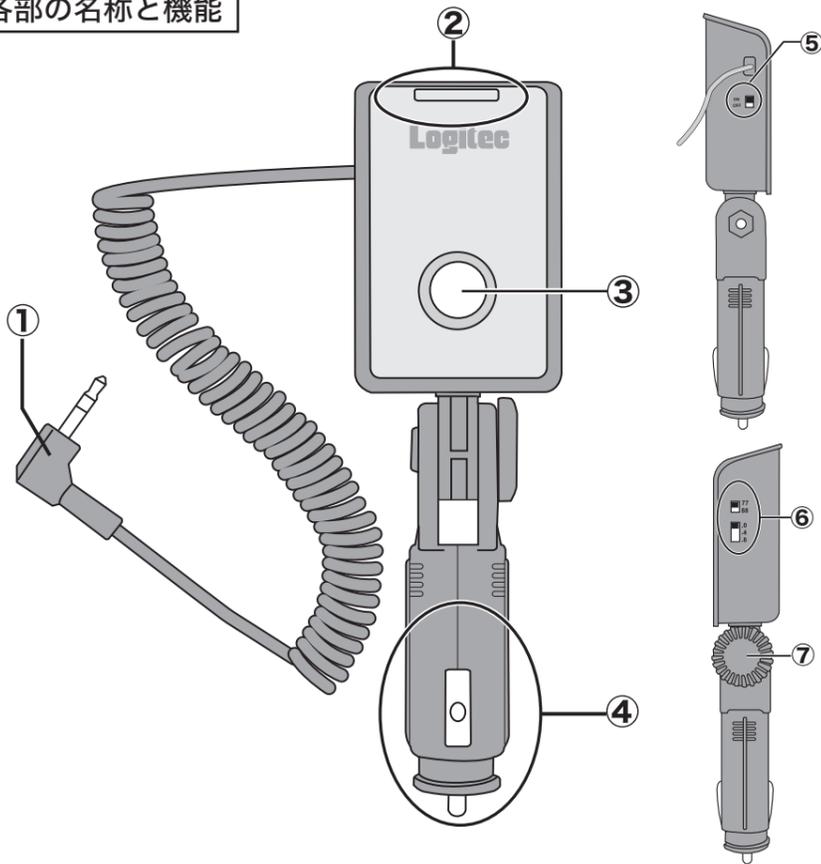


製品の特徴

本製品は、充電機能搭載車載用FMトランスミッターです。iPodやポータブルMDプレーヤー、ポータブルCDプレーヤーなどのポータブルオーディオ機器のステレオミニプラグと本製品のステレオミニプラグを接続する事により、これらの機器に保存されているMP3データや音楽データをお手軽にカーオーディオで再生することができます。

- ・電源はシガーソケット (12V車専用) から供給を受け、オーディオデータはFM波を利用して無線でカーオーディオに転送されるので、面倒な車内配線等が必要ありません。
- ・充電用にUSBコネクタが搭載されていますので、USBコネクタ経由での充電に対応している機器ではUSBより充電が可能です。携帯電話やiPod等では、再生と同時に充電を行うことができるので、プレーヤーのバッテリー残量を気にせずに音楽を楽しむことができます。

各部の名称と機能



- ①ステレオミニプラグ
iPodやポータブルMDプレーヤー、ポータブルCDプレーヤーなどのオーディオ再生機器のステレオミニプラグに接続します。携帯電話を接続する場合は本製品に付属の携帯電話用変換ケーブルのステレオミニプラグを接続してください。
- ②USBシリーズAコネクタ
USB経由での充電機能を持つオーディオ再生機器の充電コネクタと接続します。なお、このコネクタ経由での再生機能はありません。
- ③表示ランプ
本製品の電源がONになると青色に点灯します。
- ④シガープラグ
自動車内のシガーソケット (12V専用) に接続します。
- ⑤電源スイッチ
本製品の電源をON/OFFします。
- ⑥周波数切替スイッチ
本製品に入力された機器からの音源データをFM送信する周波数帯を切り替えるためのスイッチです。周波数は上下のスイッチを使用して、「77.0」「77.4」「77.8」「88.0」「88.4」「88.8」の中から設定します。
上側
周波数の整数の値を「77」と「88」のどちらかに指定します。
下側
周波数の少数点以下の値を「.0」「.4」「.8」のいずれかに指定します。
- ⑦角度調整固定ネジ (Adjustment joint機構)
操作部の角度を180°の範囲で調節して固定します。

使い方について

iPod等を使用する場合、プレーヤー側の残電力が非常に少ないと、プレーヤー自体が動作しない場合があります。その場合は、ある程度の充電を行ってからご使用ください。

1. 本製品のシガープラグを、お車のシガーソケットに接続します。
 2. オーディオプレーヤー等の再生機器に本製品に接続します。
- iPodやMDプレーヤーなどを使用する場合は、本製品のステレオミニプラグを再生機器のステレオミニプラグに接続してください。
- 携帯電話に接続する場合は、付属の携帯電話用変換ケーブル (平型4ピンイヤホンジャック) を使用してください。なお、平型4ピンのコネクタを持たない携帯電話ではご使用になれません。
3. 本製品の電源をONにします。
 4. 周波数切替スイッチで転送するFM波の周波数を設定します。
 5. カーオーディオ側のチャンネルをFMに合わせ、本製品で設定した周波数にあわせませす。
 6. ご使用の機器側で再生ボタンを押すと再生が始まります。

ご注意

適切な音量に設定されていないと、音が割れて聞こえたりノイズが入る場合があります。再生される音声が気になる場合は、以下のことをお試しください。

1. 任意のFM局にチャンネルを合わせて、カーオーディオ側で音量調節を行います。
2. 周波数を本製品で設定しているところに合わせます。
3. ご使用の機器側で音量を調節します。

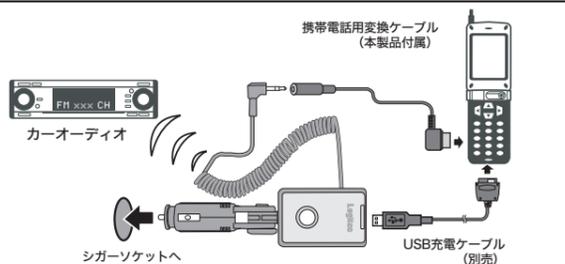
接続例

ここでは、本製品に接続可能な機器の接続例と注意事項をご紹介します。ご使用になる機器にあてはまる項目をご参照ください。

① 再生・充電が同時にできる機器の接続例

携帯電話

1. シガープラグをお車のシガーソケットに接続します。
2. 携帯電話用変換ケーブルを使用して、本製品のステレオミニプラグと携帯電話の4極平型コネクタを接続します。
3. 本製品の電源をONにして周波数をあわせませす。
4. 携帯電話側を操作して、携帯電話に保存された音楽データを再生します。



※別売のUSB充電ケーブルを使用して携帯電話を充電することも可能です。

オプション品について

弊社では、携帯電話用USB充電ケーブルをオプション品として取り扱っております。オプション品は、ロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」 (<http://www.logitech-direct.jp>) または、お買い求めいただいた販売店にてお求めください。

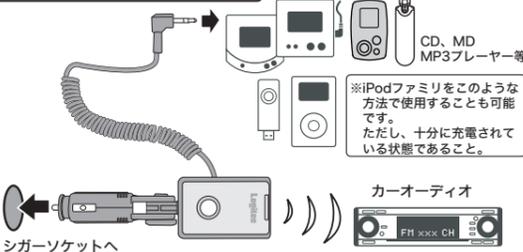
FOMA用	USB充電ケーブル	CB-USBFM-008
au (CDMA) 用	USB充電ケーブル	CB-USBAU-008

② 再生のみ可能な機器の接続例

オーディオ出力端子にステレオミニプラグを備えているプレーヤー

1. シガープラグをお車のシガーソケットに接続します。
2. 本製品のステレオミニプラグをMDプレーヤー等のイヤホンジャックに接続します。
3. 接続後、本製品の電源をONにして周波数を合わせませす。
4. オーディオプレーヤーを操作して再生します。

※プレーヤー側がUSBコネクタ経由での充電をサポートしている場合は、プレーヤーに付属のUSB充電ケーブルを接続して充電を行うことができます。



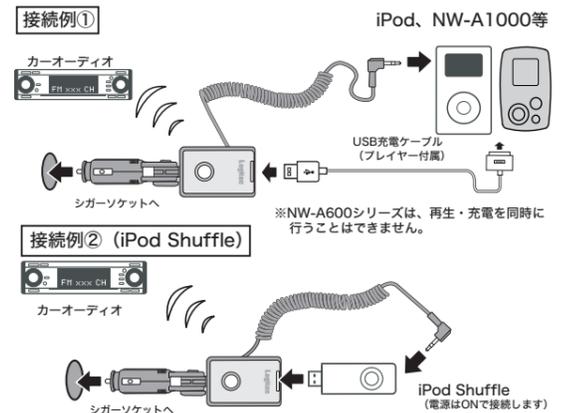
iPod G4以降/iPod mini/iPod Photo/iPod nano/iPod Shuffle Sony NW-A3000、NW-A1000シリーズ等

1. シガープラグをお車のシガーソケットに接続します。
2. 本製品のステレオミニプラグをオーディオプレーヤーのステレオミニプラグに接続します。

※iPod Shuffleの場合、ShuffleのUSBコネクタに、iPod ShuffleのUSBコネクタを本製品のUSBコネクタに接続すると、再生と同時に充電が可能となります。

それ以外のiPodシリーズの場合、プレーヤーに添付のUSB充電ケーブルを使用することにより、再生と同時に充電を行うことが可能です。

3. 本製品の電源をONにして周波数を合わせませす。
4. オーディオプレーヤーに保存された音楽データは、オーディオプレーヤーを操作して再生します。



③ 充電が可能な機器について

※ポータブルオーディオ機器の中には、USBコネクタ経由での充電をサポートしている機種もあります。そのような機器を充電する場合には、機器側に付属のUSB充電ケーブルを使用して本製品のUSBコネクタ経由で充電が可能です (MAX 5V/700mA)。なお、再生と同時に充電ができるかについては、ご使用の機器により異なります。詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご確認ください。

再生と同時に充電をサポートしていない機器の場合、オーディオ入力端子とUSBコネクタに同時に接続すると、故障の原因となる場合がございますので、絶対にそのような方法での充電はおやめください。

